

市政日誌

4Hクラブ研究実績発表大会

実用的な課題多く進歩のあと

第八回を迎えた市内青少年クラブの研究実績発表大会は去る一月二十四日市役所議場で開催され熱心な研究実績の発表が行われたが、そのうち入賞者と研究内容は次の通りです。

秀位 水稻栽培密度及び様式に對する品種の適応性について

天神野新関口正志(稲友会)

私の研究は一般に作られていた品種で、私の土地に適した品種を見出すこと、栽培密度はいかなるものがよいのかを知るためです。この研究は三十二年、三十三年の二年間にわたり行つたものです。使用品種は、藤原五号、農林一、豊年早生、早生若葉、越路早生、新六号の六品種で、栽培密度は六六株、六〇株の並木植と五〇株の正方形植でした。



並木植の収量を新六号を例に述べてみると、並木植が三三六斗にあつたのに対し、正方形植は三三三斗で三斗の差があります。このことから私の土地では

優位 横穴による椎茸不時栽培

小川寺 森崎收三(同好会)

耕地面積の少ない山麓地では稲作のみの経営は困難である。そこで現金収入の多い椎茸栽培を目標として、私達クラブ員共同により、価格の高い時期の椎茸の横穴式温床栽培を考え、北陸

優位 農村の食生活改善

片貝 中川英子(女子クラブ)

女子青年クラブ員の「アンケート」調査によると、農村は女の労働過重と栄養の悪い点を大きくと挙げられていた。この点から農村に嫁にいつても良いと云う人は二割未満で、農村生活が嫌われていることがわかった。その根本原因の改善についてあげればつぎのよう

優位 春播夏採り甘藍栽培

松倉 黒崎昭三(耕友会)

山麓の農村の現金収入の増加のためには、全国的に地方で作り易くても販売のしやすい作物として春播夏採り甘藍を選定し、約四畝歩を一畝づつ四品種を試作して見たところ、非常に生育が良く、長交秋播早生は坪当り二五〇〇匁、長岡交配早生二二〇〇匁、長岡交配一号は二二〇〇匁の収量をあげた。しかし市場価格の点から考え、収穫期間の長い品種、即ち長交秋播早生、長岡交配早生は有望と認められた。

審査概要

1. 課題選定の動機について
課題の選定はかなり良かった。
2. 計画は合理的であるが、中には複雑で收拾のつかないものがあつた。
3. 実行に当つて工夫と努力の跡が伺えた。
4. 実用的なものが段々多く、発表の跡が伺えた。
5. 発表のための準備は、やが足りなかつた。
6. 図表がやや小さいものがあつた。

傷痍軍人更生医療義肢相談実施について

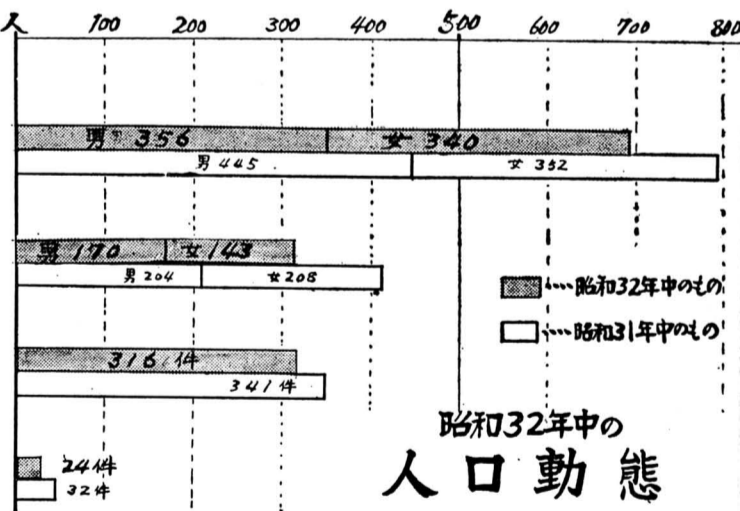
- 一、期日 二月十日 午前十時から 午後三時まで
- 二、場所 下野方出張所二階
- 三、相談内容 1. 更生相談 2. 職業相談 3. 義肢相談 4. 義肢の装着新調、修理等

冷えこみに注意

一 流産のふえる時期

これからめづり冷えてくると、どうしても下腹が冷えるせいか流産がふえてきます。昭和三十一年の統計では二月の流産数が一七六胎で最も多く、次いで三月の一七胎となつており、ふだんの月の一割ないし、二割増となつています。流産は大抵の場合、過労や他の疾病により誘発されますが、時には氷の上でころんだりして腹を打つたことなどが原因になることもありますから注意しなければなりません。妊娠早期の流産ですと梅毒の場合も考えられます。

出生 死亡 婚姻 離婚



昭和32年中の人口動態

新刊紹介

- | 書名 | 著者 |
|-----------|--------------|
| 空の男 | 黒江 保彦 |
| ノラヤ | 内田 百閒 |
| 娘の縁談 | 河盛 好藏 |
| 私はまだ生きていた | D.ハワース |
| 日本語の起源 | 大野 晋 |
| ナポレオン | 井上 幸治 |
| 平家物語 | 石母田 正 |
| あらゆる法律相談 | 渡辺 剛彰 |
| インドで考えたこと | 堀田 善衛 |
| 店舗と陳列の近代化 | 森田 博二 |
| 日本水産史 | 日本水産史 |
| 日本常民文化研究所 | 劉生 給日記 第一巻第三 |
| 岸田 劉生 | |



つり 中野 奇空
アメリカ資本主義見聞記 東畑 精一
漁業の歴史 清水 照夫
赤と紫 田口 潤三郎

最近の寄贈図書紹介

- 書名(著者) 寄贈者氏名
トロイのヘレン、J、アースキン 西崎 一郎
高校英語の総合解説(西崎一郎) 西崎 一郎
一分、(越智信平) 日本電機公社
第三の眼、(L.ランバ) 板沢 武男
深層、(高橋実) 高橋 実
NHK年鑑(日本放送協会) 富山放送局
現代アメリカ文学全集(T.カポーテ) 西崎 一郎
東洋レヴィン製事典(東洋レヴィン) 今井 兼毅
富山産業大博覧会誌(富山市役所) 富山市役所
保健体育の先生(米陀京子) 米陀 京子

第三回青年祭ひらく

二月十六日に

- 青年が相寄つて芸能、産業、新生活等の研究発表を通じ仲間意識を深めようと市連青、市教委、北日本新聞社が主催となつて第三回青年祭が次のように行われます。
- | 種別 | 時間 | 場所 |
|----|--------|-------|
| 演劇 | 午前九時から | 大町小学校 |
| 音楽 | 午後九時から | 大町小学校 |
- 第一部合唱、第二部合奏、第三部

貴重な労働力



アメリカの農業を見て

土地気候等の自然条件に恵まれ広大な沃野に大規模な農業を営むアメリカ農業は、近年の農産物の生産過剰の産を営むアメリカ農業も、農業を専らにやる人、あるは年中収穫ばかりやる農夫(専業農夫)による農業労働者を一つの専門作業に就業させ(日本では不可能)ある種の作業を熟練させます。そして可能と考えられる限界まで農業が機械化されて一分一秒といふとむだになることはありません。ある種の農業は休憩することにより作業能率が低下するたため、中食時間のほかには休憩